

テーマ

電算室用フロアパネルの表面材貼り替え技術の開発

## 千葉県異業種交流融合協議会 会員企業

## インテリアいとう有限会社

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への挑戦、取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員組合の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業事例をご紹介します。

## 経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことです。この計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、特許関係料金減免等の他、ちば中小企業元気づくり助成事業（市場開拓助成／新商品・新技術・特産品等開発助成）の対象となります。

## 申請のついでに

弊社は、昭和61年創業の建設業者です。創業当初から内装仕上げ工事を中心に手掛けており、現在は、OAフロア（床の上にネットワーク配線などのための一定の高さの空間をとり、その上の別の床を設け二重化したもの）敷設工事の施工を専門に受注（OAフロアパネルメーカーからの下請工事）しています。

データセンター等の電算室に敷き詰められているフロアパネルは、基材であるアルミパネルに表面材（薄いタイル）を接着させた二層構造になっています。表面材は、損耗・損傷が激しいため、貼り替えが必要になります。その際、再利用が十分可能であるアルミパネルを含めたフロアパネル全体を廃棄して新品に交換しているのが現状です。

近年、OAフロアパネルメーカーの中にも、自社の事業活動が環境配慮的であることをアピールしたい企業が現れてきており、アルミパネルを再利用する方法の模索が始まっています。弊社は、ここに商機があると考え、電算室用フロアパネルの表面材貼り替え技術の開発を独自に進め、今般、その実用化にめどがたったことから、この弊

社独自技術を活用して、経営の向上を図るべく、申請いたしました。

## テーマ及び内容は？

## 1. テーマ

『電算室用フロアパネルの表面材貼り替え技術の開発』

## 2. 計画期間

▽平成23年7月～平成27年2月（4年計画）

## 新たな取り組みの特徴は？

アルミパネルの再利用が全く進んでこなかった要因として次の事が挙げられます。

- (1) アルミパネルは、天井部分が微細な3次曲面を描いているので傷つけることなく表面材を削り取る技術が無かった
- (2) アルミパネルに替えの表面材を効率的に再接着する技術が無かった
- (3) 再接着した表面材をアルミパネルの辺長規格に収まるよう精度良くカットする技術が無かった

これら三工程のすべてを機械化するには、それぞれの工程が抱える課題点をクリアし

なければならぬため、その開発に要する資金と時間に鑑み、機械化したところで採算が合わないと考える企業が大勢を占めているためです。

弊社が他社に先駆けて表面材の貼り替え作業を機械化することができれば、アルミパネルの再利用促進のきっかけを作り、環境保全に配慮した商品を市場に提供することが出来ます。

(商標 リプロパネル)

### ○新たな取り組み

表面材の削り取り・再接着・カットの機械化について研究を重ね、これら各作業を担う機械装置を開発しました。これにより、アルミパネルを再利用したフロアパネルの量産が可能となり、その結果、

(1) O Aフロアパネルメーカーは、従来の半額程度での販売及び施工による競争力強化・環境配慮等

(2) 当社は、再生フロアパネルをO E M製品としてO Aフロアパネルメーカーに卸して収益を上げられるようになるほか、フロア敷設工事の受注機会を拡大できる。

(3) ユーザーは、O Aフロア交換時のコスト負担を従来の半減程度に削減できる。といった効果が生じます。

## 今後の事業展開は？

すでに、O Aフロア製造販売会社からの引き合いがあり取引を開始するにいたった

ことから、今回の取り組みに手応えを感じました。

今後は、O Aフロア販売会社を当面のターゲットに据えて集中して営業活動を実施し、当社の技術による再生フロアパネルの生産量を増やしていく計画です。

生産量が伸びたところで、個別に運転している当社の表面材切削機・再接着機・カット機のライン化及び工場の拡張、体制の強化を行う予定です。

この体制強化によって、さらに生産能力が高まった段階で、大手・中堅建設業者、コンピュータメーカーに営業対象を広げて、再生フロアパネルの販売量の増加とフロア敷設工事の受注により売上高を伸ばす計画です。

## 社長さんの一言

表面材貼り替え(リプロパネル)は、基材をリユースするので、従来のようにアルミを溶解する必要がなくなり、溶解時に発生するCO<sub>2</sub>を発生させる事無くリニユーアルできます。また、基材をリユース出来るので大幅なコスト削減が可能となります。この新しい技術を多くの皆様知っていただき、ご採用いただけましたら幸いです。

弊社は、リニユーアル工事に関する新しい技術の開発に力を入れており、リプロパネルの他に、長尺塩ビ床シート剥離時の騒音・振動・塵芥の発生を大幅に削減する事の出来る床材剥離機(セレナメント)の開

発に成功し、平成二十六年 千葉県ものづくり認定製品に認定していただきました。より良い未来のために、微力ながら社会のお役に立てる様、励んで参ります。

## 中央会から

◎経営革新計画の作成過程では、自社の経営における「これまで」や「今」を正しく知り、「これから」を見通すことで、いま何をすべきなのか、どこにいるのか、そうしたものが明確となります。また、攻めの経営に転じる上で阻害要因となっていた漠然とした迷いを吹っ切るきっかけにもなるものです。ぜひご活用ください。

◎ご相談は本会経営支援部まで

☎043・306・3282



## 企業プロフィール

団体名：千葉県異業種交流融合化協議会

企業名：インテリアイトウ株式会社

代表者：伊藤 勝則

所在地：千葉市若葉区桜木6-15-14

電話番号：043-234-1614

従業員数：3,000千円

業種：床・内装工事業

U R L : <http://interia-ito.com/>

承認年月日：平成23年7月31日

支援機関：千葉県中小企業団体中央会